

4 くらしやすさを高める

58億円 (対前年 +7億円)

- 水道施設の耐震化率が全国平均に比べて低い状況
- 高齢化が進展し、介護ニーズも高まる中、介護サービスを担う人材が不足
- ギャンブル依存やスマホ依存など、様々な問題が顕在化しており、対策が急務

生活環境・福祉サービスの充実や県民の生活を守るための政策を強化

快適な生活環境の実現	<p>22.4億円 (対前年+1.1億円)</p> <p>増 公共下水道整備 (+0.3億円) 増 農業集落排水施設整備 (+0.3億円)</p>	<ol style="list-style-type: none">1 水道の基盤強化や、耐震化等の水道施設強靱化に向けた取組を支援 (P53)2 消費者の安全確保のため、多様化する消費者問題への対応を強化
支え合う福祉の充実	<p>35.6億円 (対前年+6.1億円)</p> <p>増 生活保護施設整備 (+4.6億円) 増 老人福祉施設整備 (+3.3億円)</p>	<ol style="list-style-type: none">3 必要な介護サービス確保に向けた取組を計画的に推進4 介護サービス等の担い手確保のため、介護ロボットの導入を支援 (P55)5 様々な依存症に対する相談・医療・回復支援などの対策を総合的に推進 (P54)

4 くらしやすさを高める

◇新規・拡充
◇継続

・金額単位のないものは千円単位
・()内は昨年度当初予算額

ひと

つばと

いのち

くらし

地域

快適な生活環境の実現

1. 良好な生活空間づくり

◇水道の基盤強化に向けた取組 8.7億円 (10.5億円) P53
将来にわたり安全な水を供給するため、改正水道法に基づき、水道の基盤強化や水道施設の強靱化に向けた取組を支援

◇合併処理浄化槽の転換促進 354,721 (354,707)
単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換を促進するため、本体設置費、転換に伴う配管設備費、単独処理浄化槽撤去費を助成

2. 循環型社会の構築

◇不法投棄・不適正処理の撲滅 34,174 (24,503)
不法投棄・不適正処理が行われない快適な生活環境実現のため、監視指導体制の拡充及び監視カメラを活用した広範囲での監視体制を強化

3. 消費者の安全確保

◇消費者教育の推進 4,693 (6,682)
「自ら行動する」自立した消費者の育成をめざし、消費生活センターを消費者教育の拠点として、若年層、高齢者等に対する消費者教育を推進

支え合う福祉の充実

1. 高齢者福祉の推進

◇高齢者の安心を確保する基盤づくり 852,467 (530,171)
今後も増加が予測される要介護認定者の安心を確保するため、介護サービスの充実を計画的に推進

◇わかやま元気シニア生きがいバンク【再掲】 9,734 (9,537)
80歳現役社会を実現するため、社会参加を希望する高齢者と活用したい団体を登録する「わかやま元気シニア生きがいバンク」の活動を強化

2. 障害者福祉の推進

◇障害者支援施設等整備 192,193〔③〇補正326,924〕(356,138)
障害のある人が身近な地域で必要なサービスを受けられるよう、障害福祉サービス事業所等の整備を支援

◇障害者芸術文化活動推進 10,321 (6,640)
2021年度全国障害者芸術・文化祭に向けて、障害者作品展や研修会の開催など、障害者芸術文化活動を活性化

3. 困難を抱える家庭等へのきめ細やかな対応と自立支援

◇子供の貧困対策の推進【再掲】 115,211 (96,334)
子供の将来が生まれ育った環境で左右されないよう、「貧困の世代間連鎖を断ち切る」取組を推進

◇「和歌山の子・みまもり制度」の推進 - (-)
子供を虐待から守るため、市町村を中心とした地域の複数の目で子供を見守る体制整備を推進

◇総合的な依存症対策の推進【再掲】 11,214 (-) P54
ギャンブルやスマホなど様々な依存症に対して、関係機関が連携し、学校での予防教育や相談・医療・回復支援などの対策を総合的に推進

◇総合的な自殺対策の推進【再掲】 87,519 (83,143) P48
自殺の未然防止を図るため、電話相談窓口を24時間化し、SNSによる相談を実施するとともに、自殺未遂者に対する支援体制構築などの取組を推進

4. 福祉人材の育成確保

◇介護人材の確保に向けた取組の推進 181,979 (87,067) P55
高齢化社会の進展により需要が高まっている介護サービス等の担い手確保に向け、新規就労支援や介護ロボット導入による離職防止等の取組を推進

水道の基盤強化に向けた取組

平成31年度：8.7億円
(10.5億円)

将来にわたり安全な水を供給するため、改正水道法に基づき、水道の基盤強化や水道施設の強靱化に向けた取組を支援

改正水道法（平成30年12月12日公布）

人口減少に伴う水需要の減少、水道施設等の老朽化、深刻化する人材不足等の水道の直面する課題に対応し、水道の基盤の強化を図るため、所要の措置を講ずる

- 国・都道府県・市町村の責務の明確化
- 適切な資産管理の推進
- 広域連携の推進
- 官民連携の推進

2018年度

2019年度

2020年度以降

「県水道ビジョン」策定

- ▶ 将来を見据えた、水道の理想像を設定
- ▶ 市町村ごとの課題に応じた目標及び具体策を設定

水道の基盤強化に向けた取組

- ▶ 施設・管路等の耐震化
- ▶ 施設の共同設置や管理の一体化などを検討

「水道基盤強化計画」策定

- ▶ 基盤強化に向けた整備計画を策定
- ▶ 今後10年間に必要な施設・管路等の耐震化を含む整備

総合的な依存症対策の推進

平成31年度：11,214千円 **新規**

ギャンブルやスマホなど様々な依存症に対して、関係機関が連携し、学校での予防教育や相談・医療・回復支援などの対策を総合的に推進

1. 依存症予防教育・知識の普及啓発

① 学校での依存症予防教育

[ギャンブル、スマホ（ネット・ゲーム）、薬物等]

- ・ 児童生徒・保護者向けリーフレット作成
- ・ 外部講師による依存症予防授業
- ・ チェックシートによるスマホ依存指導
- ・ 指導者に対する研修会の実施

② 県民向けギャンブル依存症フォーラムの開催

③ インターネット検索連動広告によるギャンブル依存症相談窓口の案内

2. 相談体制・医療体制の整備

相談

- ① 精神保健福祉センターに相談拠点設置
- ② 保健所・市町村等の相談機能強化
- ③ 民間支援団体による相談会の開催

医療

- ④ 治療拠点や圏域ごとの医療体制の整備
- ⑤ 依存症に対応できる医師等の育成

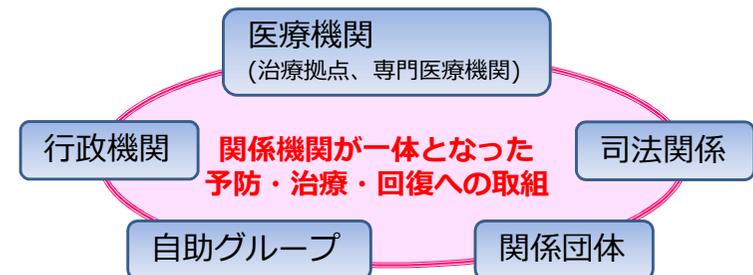


3. 関係機関の連携協力体制の整備

① 行政、医療、自助グループ、司法関係などの関係機関が連携し、現状や課題を共有

② 研修や回復支援の機会を通して、対応力を向上

- ▶ 依存症の本人・家族等の相談や治療・回復を途切れなく支援
- ▶ 様々な依存症に総合的に対応



介護人材の確保に向けた取組の推進

平成31年度：181,979千円
(87,067千円)

高齢化社会の進展により需要が高まっている介護サービス等の担い手確保に向けた取組を引き続き推進

定着促進

新規 介護ロボット導入支援

介護従事者の離職防止のため、業務効率化や負担軽減に効果がある介護ロボットの導入を支援
(対象となる介護ロボットの例) ※出典：経済産業省・厚生労働省

<p>①移乗介護 介助者の抱え上げ動作の パワーアシストを行う機器</p>	
<p>②見守り支援 センサーや外部通信機能を 備えた機器</p>	
<p>③入浴支援 浴槽に出入りする際の 一連の動作を支援する機器</p>	

※障害者施設についても、同様の観点から支援を実施

新規就労支援

- 介護福祉士養成施設入学者等への貸付5年間勤務により返済免除
(修学資金月額5万円、入学準備金20万円
就職準備金20万円等)
- 高校生等の介護資格取得支援
無料で受講できる介護職員初任者のための研修を実施
- 介護未経験者の介護分野への参入促進
中高年者など介護未経験者を対象にした研修を実施
- 福祉人材センターによる支援
求職者と求人事業所のマッチングや
職業紹介、就職相談の実施